

課かい名	警備第一課・第二課
施策目標	消防業務を効果的・効率的に実施する

業務棚卸評価シート
(左側)

1/6

基礎情報						平成 2 6 年度評価												
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標			実績						事後評価			
事業	総 括 フ ラ ゲ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動		決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
								活動量・サービス量			当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額						
								活動指標の 名称	目標値				実績値					
						25年度	26年度	27年度					0	0				
1	総	火災・救助業 務	災害に迅速に対 応し、災害被害 を軽減する。	市民等	定例 定型	訓練実施回数(出 動に対し迅速に 活動した率)	5 2 回 (1 0 0 %)	5 2 回 (1 0 0 %)	5 2 回 (1 0 0 %)						業 務 計 画	5 6 (1 0 0 %)	A	災害対応における活動技 術の高度化を進め、部隊 間の連携強化を図る訓練 を実施し、災害に迅速に 対応することができた。
1		火災・救助業 務								消防水利の維持 管理に伴う点検 調査	公設消火栓の 点検実施率	1 0 0 % (2 , 3 1 4 箇所)	1 0 0 % (2 , 3 1 9 箇所)		業 務 計 画			
1		火災・救助業 務								消防水利の維持 管理に伴う点検 調査	公設防火水槽 の点検実施率	1 0 0 % (2 1 9 箇 所)	1 0 0 % (2 2 5 箇 所)		業 務 計 画			
1		火災・救助業 務								火災防ぎょ戦術 確立訓練・特殊 災害対応連携訓 練	実施回数	4 回	8 回		業 務 計 画			
1		火災・救助業 務								救助対応の連携 訓練・水難救助 連携訓練	実施回数	4 8 回	4 8 回		業 務 計 画			
1		火災・救助業 務																
1		火災・救助業 務								寒川町消防本部 との人事交流に よる相互研修	派遣人員	4 人	4 人		業 務 計 画			
2	総	救急業務	複雑多様化する 救急業務に対し て専門的な知識 を習得し訓練を 実施して救命技 術を向上させる。	市民等	定例 定型	救急現場到着平 均時間(病院到 着平均所要時 分)	6 . 1 分 (3 0 分)	6 . 1 分 (3 0 分)	6 . 1 分 (3 0 分)						業 務 計 画	7 . 4 分 (2 8 . 9 分)	A	救急現場到着時は目標 値に対し1 . 3 分遅延し たが病院到着平均所要 時間は目標値を上回る ことができた。
2		救急業務								高度救急資器材 取扱訓練	実施回数	1 4 4 回	1 4 4 回		業 務 計 画			

[illegible]

課かい名	警備第一課・第二課
施策目標	消防業務を効果的・効率的に実施する

業務棚卸評価シート
(左側)

3/6

基礎情報						平成 2 6 年度評価													
事務事業				対象 (顧客)	事業 の性質 区分	指標・目標			実績							事後評価			
事業	総 括 フ ラ グ	事務事業名 (第2次実施計画)	事務事業の 目的・成果 (第2次実施計画)			名称	目標値 (第2次実施計画)			活動	活動			決算内訳(千円)		業務 計画	事業の指 標の達成 状況	26年度 の取組 に対する 評価	事務事業の目的に 対する取組の状況と 成果の分析
							25年度	26年度	27年度		活動量・サービス量			当該事務事 業全体の 決算額 (合計)	活動ごとの 決算額				
											活動指標の 名称	目標値	実績値						
													0	0					
2		救急業務																	
3	総	立入検査業務	立入検査を実施し消防設備不備事項の改善指導により火災被害を軽減する。	市民等	定例 定型	立入検査数	4 9 2 件	4 9 2 件	4 9 2 件						業務 計画	4 8 9 件	A	計画的に防火対象物の立入検査を実施し、消防用設備の不備に対して、改善を指導し、防火管理体制の確立ができた。	
3		立入検査業務								立入検査の実施及び指導	実施件数	4 9 2 件	4 8 9 件		業務 計画				
4	総	消防補助事業	普通救命ジュニアコース・防災訓練での指導や街頭消火器確認調査等により防災力を高める。	市民等	定例 定型	他課からの依頼受け入れ件数	1 8 5 回	1 8 5 回	1 8 5 回							1 8 2 回	A	消防関係各課の事務事業を効率よく進め、支援することができた。	
4		消防補助業務								普通救命ジュニアコースにおいて、応急手当普及協会の指導者が不足した場合の指導	実施回数	2 4 回	7 回						
4		消防補助業務								施設・車両見学、防災アカデミー講習の実施	実施回数	4 6 回	4 2 回						
4		消防補助業務								地域の防災訓練への参加	実施回数	4 回	5 回						
4		消防補助業務																	
4		消防補助業務								街頭消火器確認調査の実施	点検実施率	1 0 0 % (2 , 6 9 6 箇所)	1 0 0 % (2 , 6 8 1 箇所)						

[illegible]

[illegible]

[illegible]